

お知らせ

長良川河口堰では洪水を安全に流下させる ゲート全開操作をおこないました

1. 概要 長良川河口堰では、前線の影響による洪水を安全に流下させるため、7月22日（水）8時39分にゲートを全開にしました。その後、塩水遡上を防止し水道用水等の安定取水を確保するため、22日11時38分に全開操作を終了し、オーバーフロー操作に切り替えました。
- 25日（土）に前線の影響により長良川が増水に転じたことから、洪水を安全に流下させるため、25日11時59分に再びゲートを全開にしました。27日（月）7時現在、全開操作を継続しています。

ゲート全開操作中の長良川河口堰（下流側より撮影）
（2回目） （7月25日14時撮影）



2. 状況 7月21日から27日にわたる降雨の影響から全開操作を行いました。

流域平均累計雨量	50mm（7月21日13時から22日1時） 170mm（7月24日7時から27日7時現在）	
堰最大流入量	毎秒約 840立方メートル （22日9時20分）	毎秒約 2,000立方メートル （26日9時10分）
全開操作開始時刻	22日8時39分	25日11時59分
全開操作終了時刻	22日11時38分	全開操作継続中（27日7時現在）
全開操作継続時間	2時間59分	

※上記の流量は速報値であり、今後変更になることがあります。

今回の全開操作は、平成7年7月の河口堰運用開始以降177回目、178回目であり、本年においては9回目、10回目となります。なお、令和元年までの年間（1月～12月）の平均全開操作回数は約7回です。

また、運用開始以降最大の出水は、平成16年10月台風23号による洪水であり忠節地点毎秒7,667立方メートルの流量を観測しています（国土交通省水文水質データベースより）。

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ（三重県）、桑名記者クラブに同時配布します。

4. 問合せ先 独立行政法人水資源機構 長良川河口堰管理所

管理課長 川下（かわした） 電話0594-42-5012（代）

長良川河口堰のホームページはこちらを検索

HP

長良川河口堰

検索



過去の管理
情報及び全
開時動画→



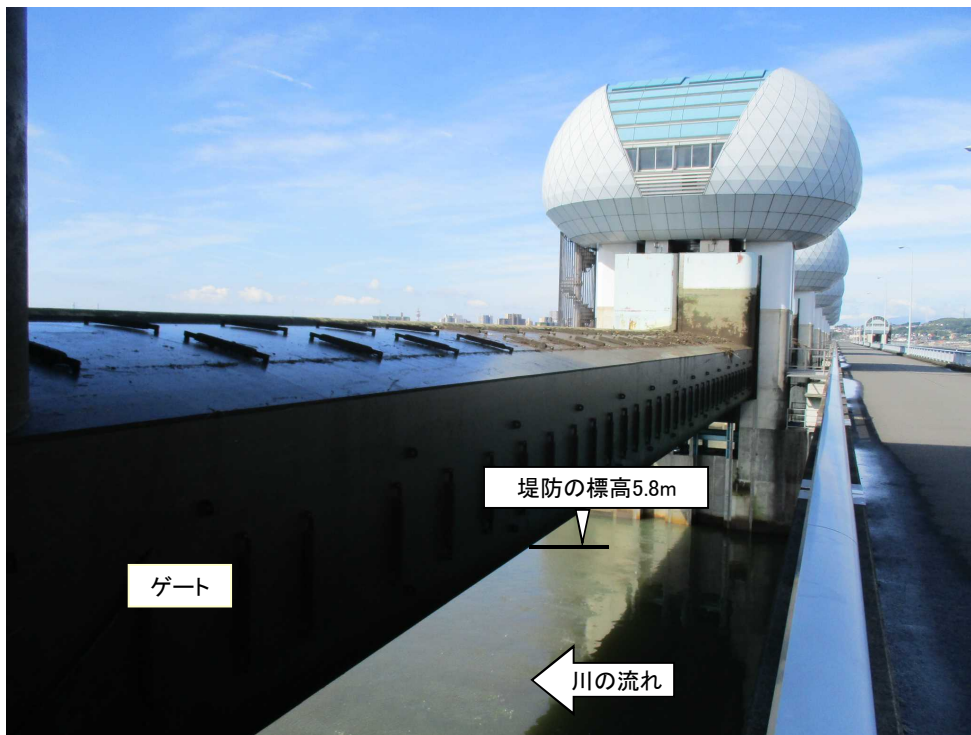
長良川河口堰
のゲート操作→





ゲート全開操作開始後の長良川河口堰（堰下流側）
（1回目）

7月22日 9時撮影



ゲート全開操作開始後の長良川河口堰（堤防より高い位置にゲートを引き上げ）
（1回目）

7月22日 9時撮影



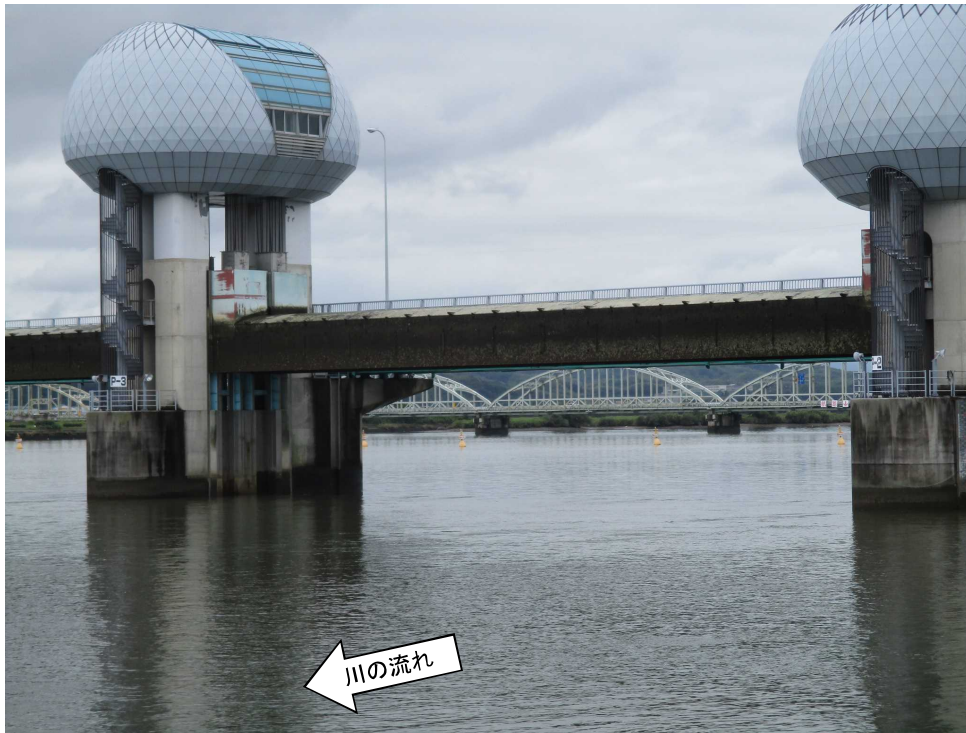
ゲート全開操作終了後の長良川河口堰（オーバーフロー操作に切り替え）
（1回目）

7月22日 14時撮影

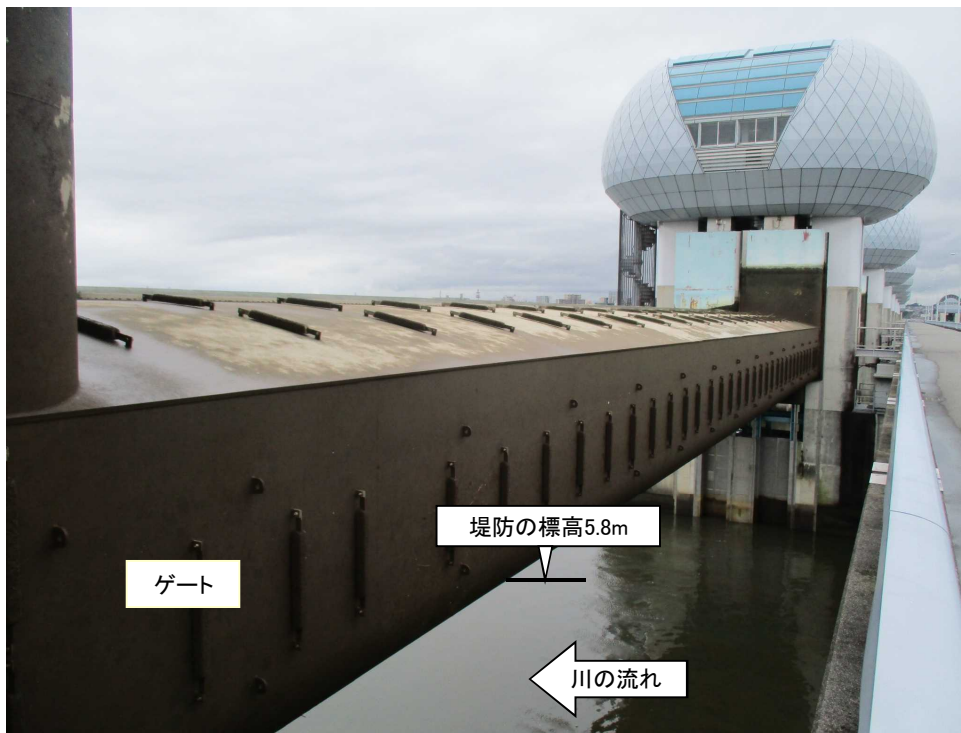


ゲート全開操作終了後の長良川河口堰（オーバーフロー操作に切り替え）
（1回目）

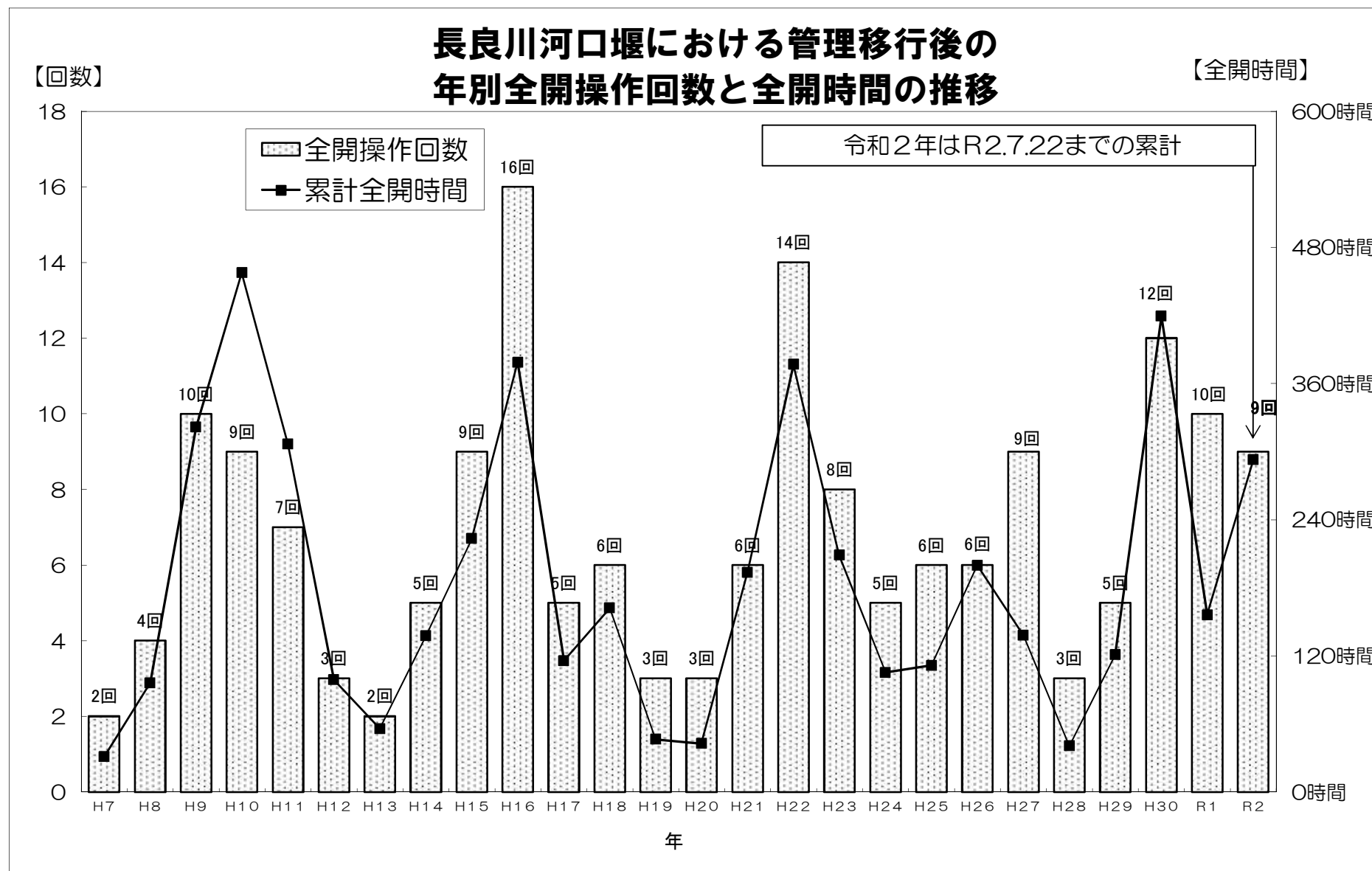
7月22日 14時撮影



ゲート全開操作開始後の長良川河口堰（堰下流側）
（2回目） 7月25日14時撮影

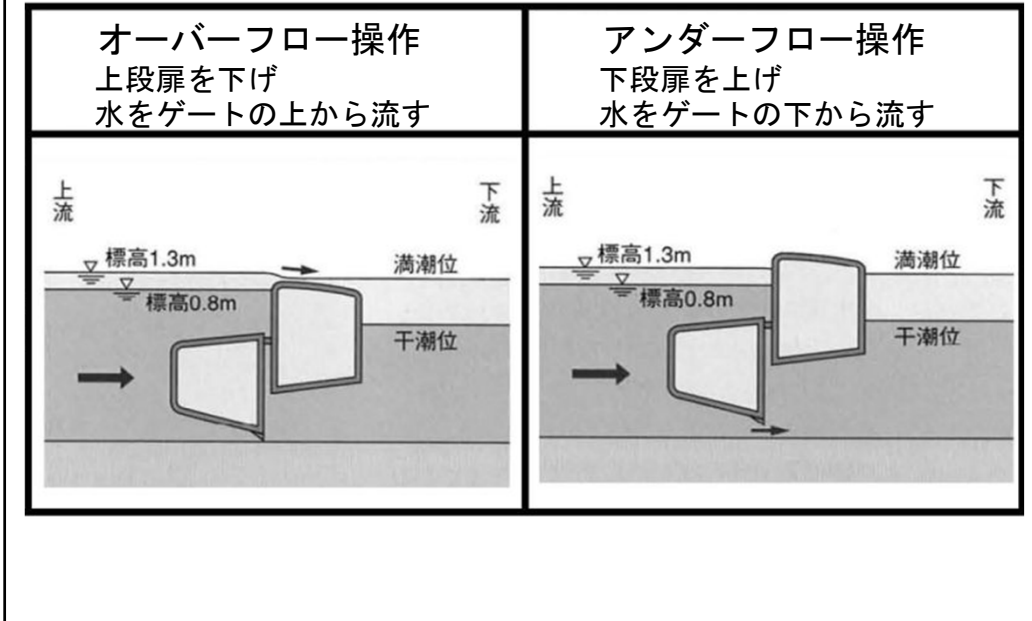


ゲート全開操作開始後の長良川河口堰（堤防より高い位置にゲートを引き上げ）
（2回目） 7月25日14時撮影



※R2.7.22までの全開操作回数: **177回**
※累計全開時間: 4836時間 29分

ゲート操作状況



ゲート操作状況

